



野瀬建築



過ごしやすくなる!あなたの住まい!

冬のヒートショック対策!

『住まいの不安・不満』を解消します。野瀬建築・野瀬です。

① 『住まいの不安・不満』を解消します。野瀬建築・野瀬です。

② 『入浴時は、1月が最も多く年間約1万7000人の方が亡くなる』

③ 『飲酒後の入浴は控える』

④ 『入浴前に血圧を測定』

⑤ 『若くても油断は禁物』等。

野瀬建築では『住まいに関わる』ご相談を承っております。お気軽にお尋ね下さい。

◆(有)野瀬建築 電話0120(34)1829、津市高茶屋七丁目6番36号(井村屋通りロソンン交差点を西へ)。

『住まいの不安・不満』を解消します。野瀬建築・野瀬です。

入浴は体が温まると血行がよくなり、気分をリラックスさせてくれます。湯船につかる習慣のある日本では、浴室は日々の疲れを取り、体を癒やしてくれる場です。

しかし、家庭の浴室でヒートショックによる急死が多く発生しています。ヒートショックが関連した入浴中心肺停止者数は、気温が低下する10月ごろから増えて1月が最も多く年間約1万7000人の方が亡くなるというデータがあります。

ヒートショックによる入浴関連死は、65歳以上が80%以上を占めており、特に75歳以上の高齢者が多くなっています。

予防対策を知って、安全で快適な入浴をするにはどのような対策が必要なのかをご紹介します。

① 『脱衣所や浴室は暖かく、湯温は41℃以下』